

7月2日（水）

3年生キウイ摘果

3年生がABU学の体験学習で、春に受粉作業を行ったキウイの摘果作業を行いました。大きな実を実らせるには、果実を間引きする必要があります。自分が受粉させた場所へ行き、1～2個大きく実らせるか、少し小ぶりでも5～6個実らせるかを自分で選択し、摘果させていただきました。摘果したまだ熟していない小さな実は、漬物にするとおいしいと聞き、子どもたちは喜んで持って帰っていました。またこの日は、「なぜキウイが阿武町の特産品になったのか」という歴史について教えていただいたり、学びを進める中で生まれた疑問について質問に答えていただいたりして、さらに学びを深めました。暑さの厳しい日でしたが、河内の山間にあるキウイ畑は木陰で涼しく、子どもたちは「実をとるのが楽しかった!!」と喜んで学校に帰ってきました。



